

## 子どもの意見に関する調査結果（抜粋）

### 抜粋した調査・アンケート一覧

#### ○令和 7 年度 佐賀市教育政策市民満足度調査

実施者：佐賀市教育委員会（教育総務課）

調査期間：令和 7 年 4 月 11 日～ 5 月 12 日

| 調査対象者        | 調査方法             | 配布数 | 回収数 | 回収率   |
|--------------|------------------|-----|-----|-------|
| 小学校 4・5・6 年生 | 学校経由の<br>オンライン調査 | 465 | 449 | 96.6% |
| 中学校 1・2・3 年生 |                  | 454 | 362 | 79.7% |

#### ○佐賀市 子どもの生活アンケート

実施者：こども政策課（当時：子育て総務課）

調査期間：令和 7 年 2 月 25 日～ 3 月 19 日

| 調査対象者    | 調査方法             | 配布数   | 回収数   | 回収率   |
|----------|------------------|-------|-------|-------|
| 小学校 5 年生 | 学校経由の<br>オンライン調査 | 2,023 | 1,764 | 87.2% |
| 中学校 2 年生 |                  | 1,862 | 1,467 | 78.8% |

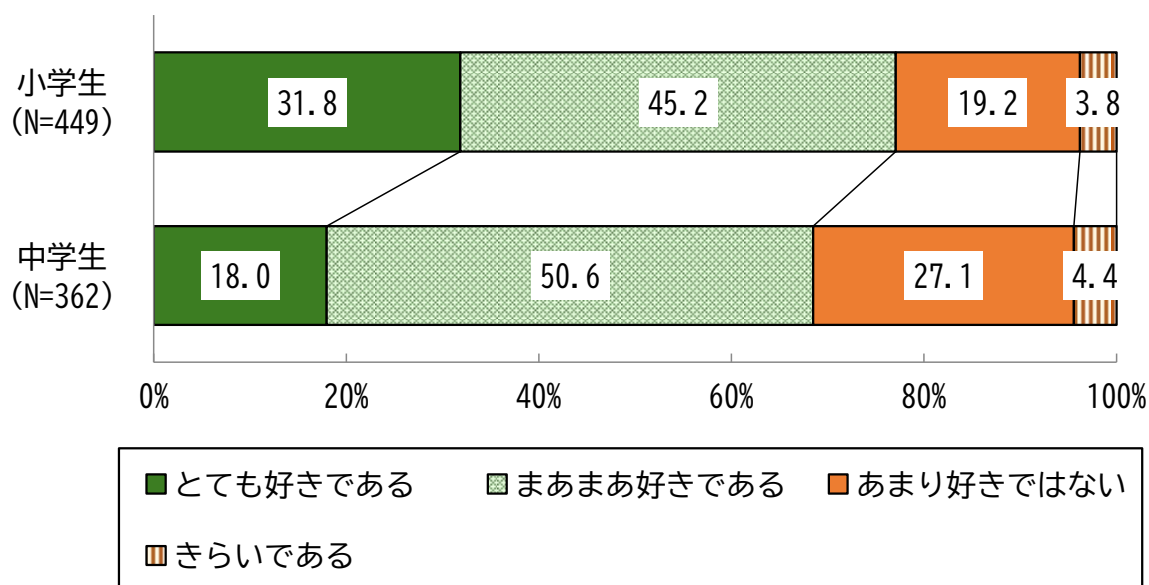
### アンケートの分析結果

- 地域のイベントや行事を 8 割程度の子どもは楽しいと感じており、地域行事へ好意的な印象がうかがえる。
- 参加したい活動として、「地域のお祭り、伝統行事」「ボランティア活動」等の意見もあり、地域活動への関心も読み取ることができる。
- なんでも相談できる場所を利用したことがある、利用したいかとの問いに約半数が分からない、知らないと回答がり、情報が十分に伝わっていない。
- 少数ではあるものの、家族等のお世話をしていることで、「学校に行けない、遅刻する」、「自分の時間がない」等の回答があり、子どもの異変を早期に発見できる見守り活動等の充実が必要である。

## ■佐賀市教育政策市民満足度調査の結果（抜粋）

問 あなたは自分自身のことを、どう思っていますか

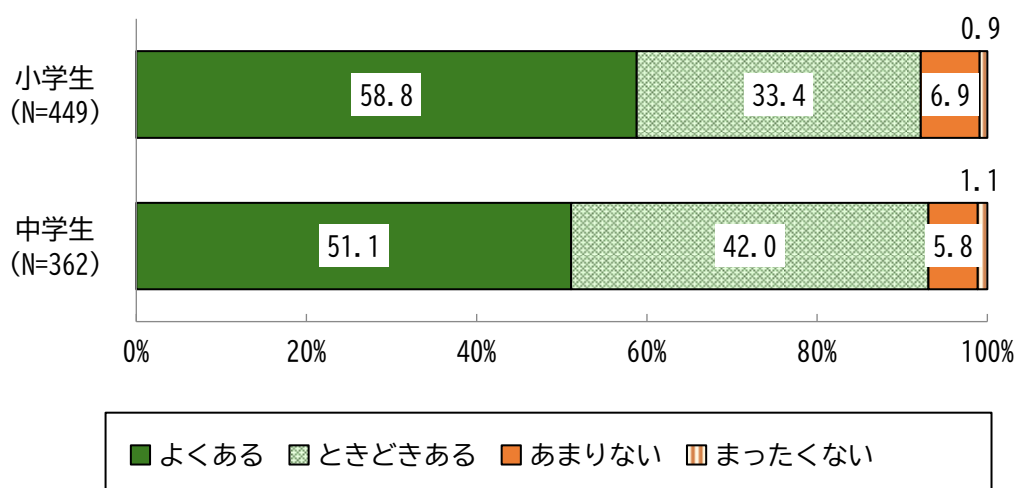
小学生では、「とても好きである」と「まあまあ好きである」との合計は 77.1%となっており、中学生では 68.5%となっています。



※小学生は4年生から6年生を対象。中学生は全学年を対象。

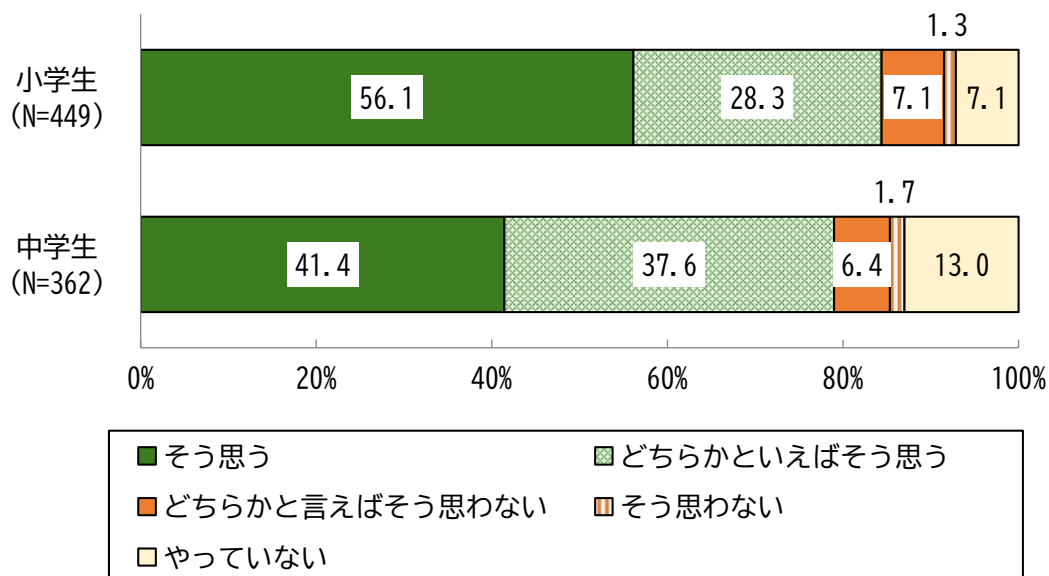
問 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

小学生では、「よくある」と「ときどきある」との合計は 92.2%となっており、中学生では 93.1%となっています。



問 地域でのイベントや行事などの活動は楽しいですか

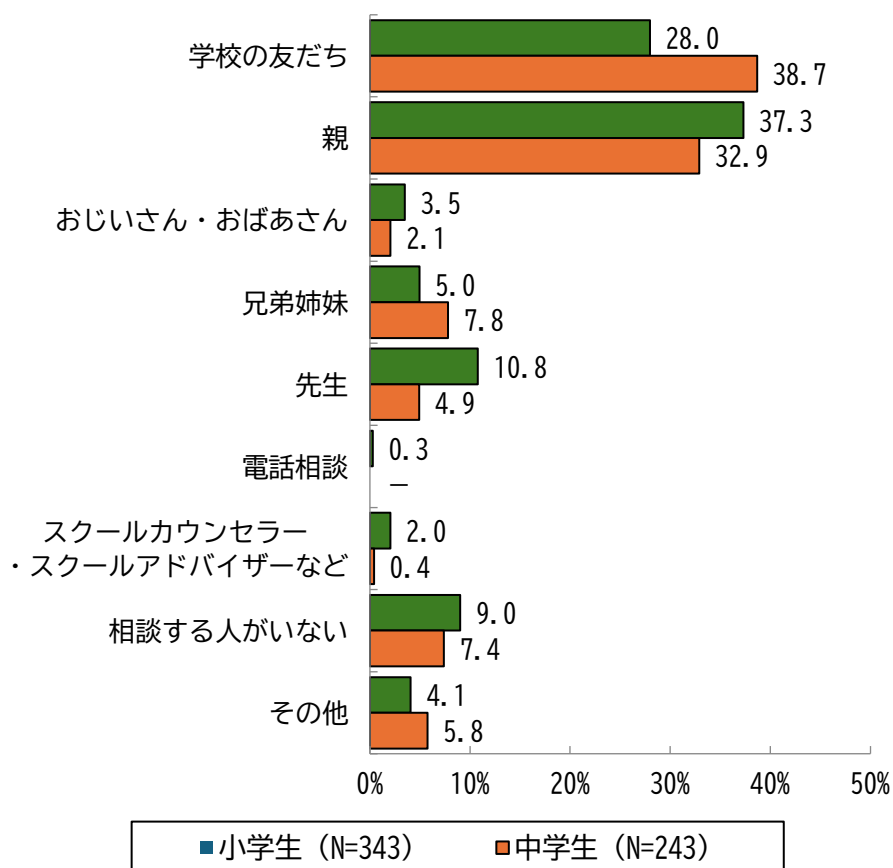
小学生では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」との合計は 84.4%となっており、中学生では 79.0%となっています。



問 悩みや困ったことをよく相談する相手はだれですか。

※「学校生活で悩みや困ったことはありますか」に「ある」と回答した小中学生を対象

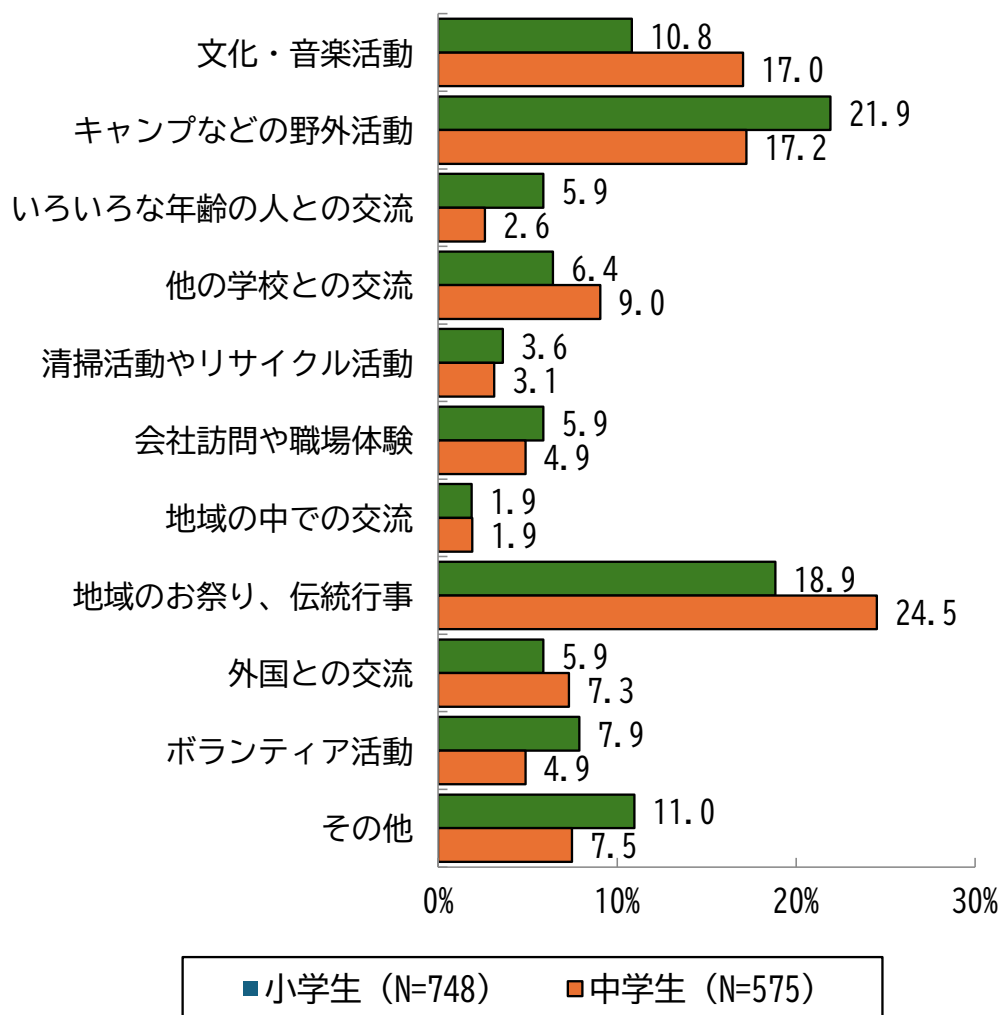
小学生、中学生ともに、「学校の友だち」「親」が多くなっています。「相談する人がいない」は、小学生で 9.0%、中学生で 7.4%となっています。



問 学校以外でどのようなイベントや行事があれば、参加したいと思いますか

小学生では、「キャンプなどの野外活動」(21.9%)、「地域のお祭り、伝統行事」(18.9%)が高くなっています。

中学生では「地域のお祭り、伝統行事」(24.5%)、「キャンプなどの野外活動」(17.2%)、「文化・音楽活動」(17.0%)が高くなっています。



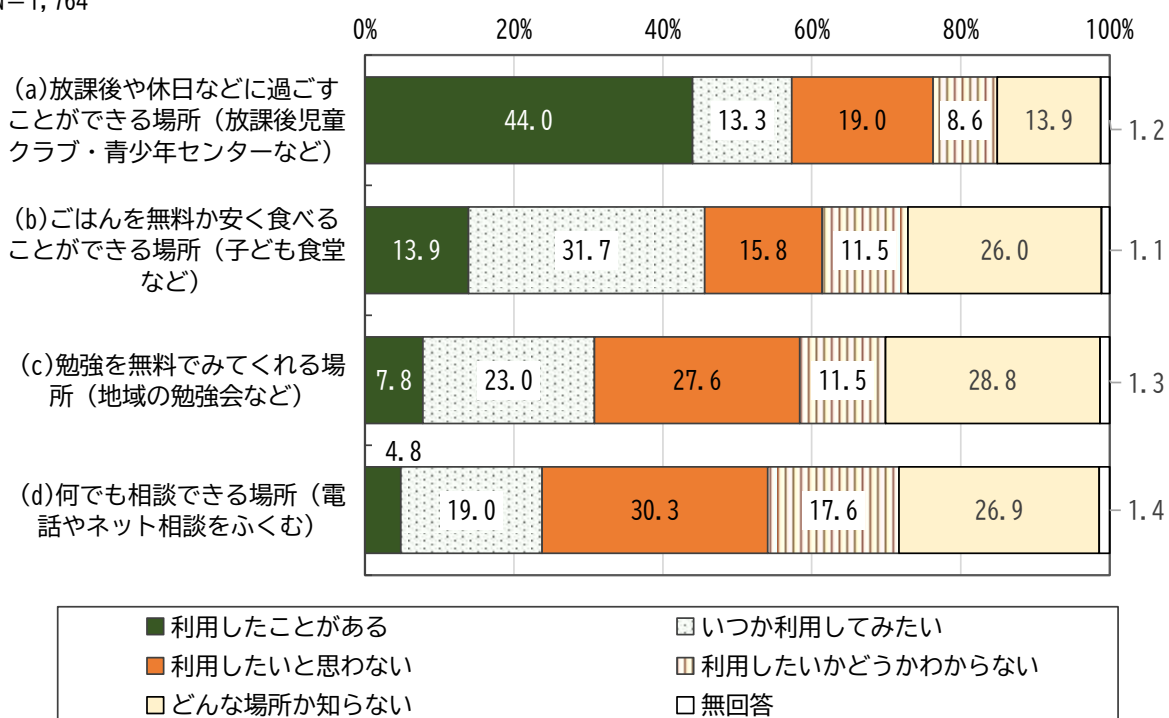
## ■「佐賀市 子どもの生活アンケート」(小5、中2対象) 結果抜粋

あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか（自分や友だちの家、学校はふくみません）。また、利用したことがない場合、いつか利用したいと思いますか。

### 【小学生】

「利用したことがある」の割合が最も高くなっているのは、「(a)放課後や休日などに過ごすことができる場所（放課後児童クラブ・青少年センターなど）」となっています。「利用したいと思わない」の割合が高くなっているのは「(d)何でも相談できる場所（電話やネット相談をふくむ）」、「(c)勉強を無料でみてる場所（地域の勉強会など）」となっています。

N=1,764

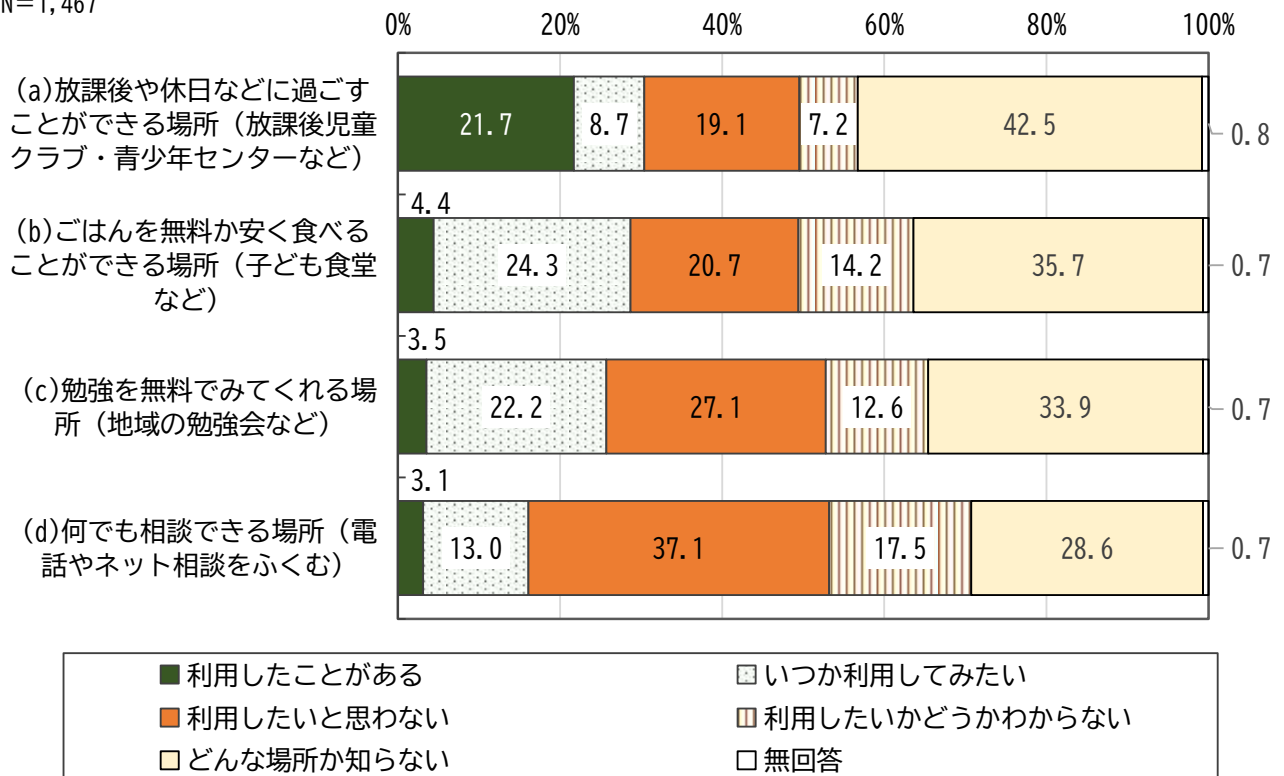


## 【中学生】

「利用したことがある」の割合が最も高くなっているのは、「(a)放課後や休日などに過ごすことができる場所（放課後児童クラブ・青少年センターなど）」となっています。「利用したいと思わない」の割合が高くなっているのは「(d)何でも相談できる場所（電話やネット相談をふくむ）」、「(c)勉強を無料でみてる場所（地域の勉強会など）」となっています。

小学生と比較すると、「利用したことがある」の割合が全体的に低く、また「どんな場所か知らない」の割合が全体的に高くなっています。

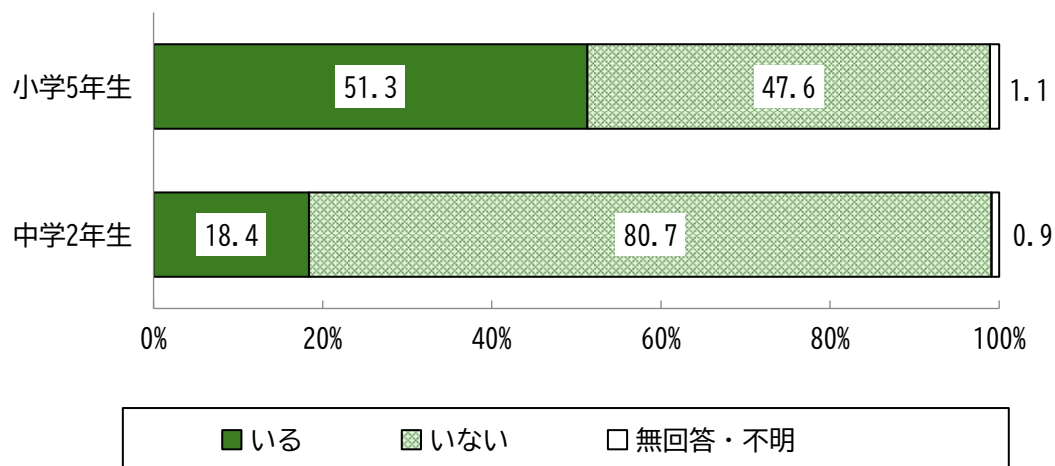
N=1,467



問 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

※ここで「お世話」とは、大人がしているような家事や家族のお世話をことをいいます。たとえば、食事の用意や、そうじ・せんたく・買い物などの家事、着がえやおふろ・トイレの手つだいなどです。

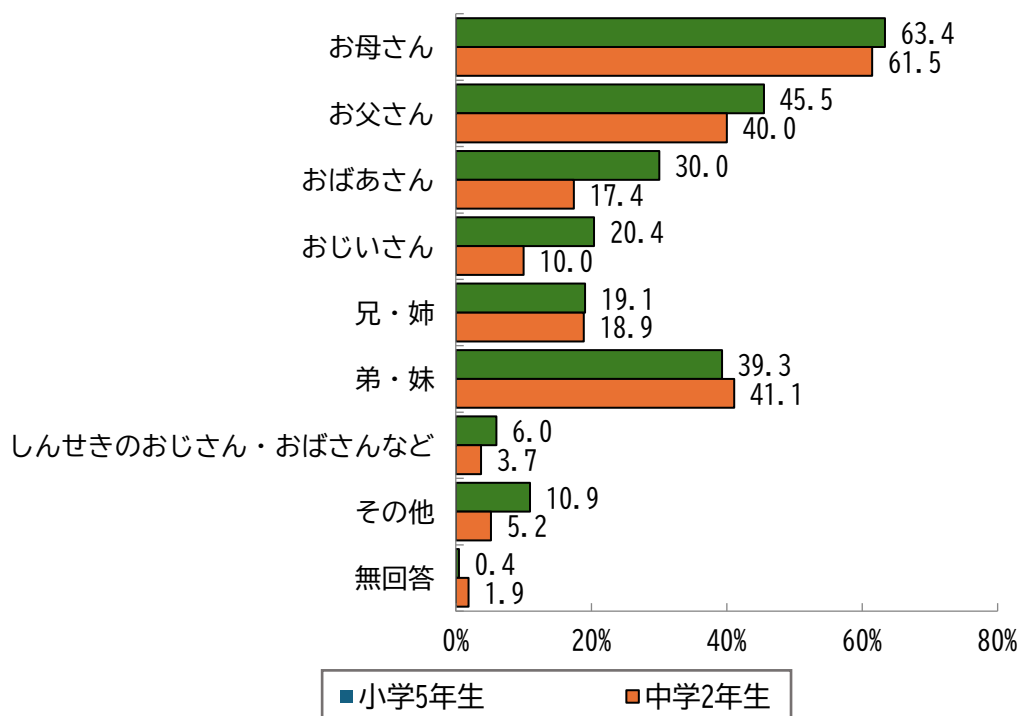
「いる」と回答したのは、小学5年生では51.3%、中学2年生では18.4%となっています。



※以下、「いる」と回答したものを対象

問 あなたがお世話をしている人はだれですか。

小学5年生、中学2年生ともに、「お母さん」「お父さん」「弟・妹」の割合が高くなっています。

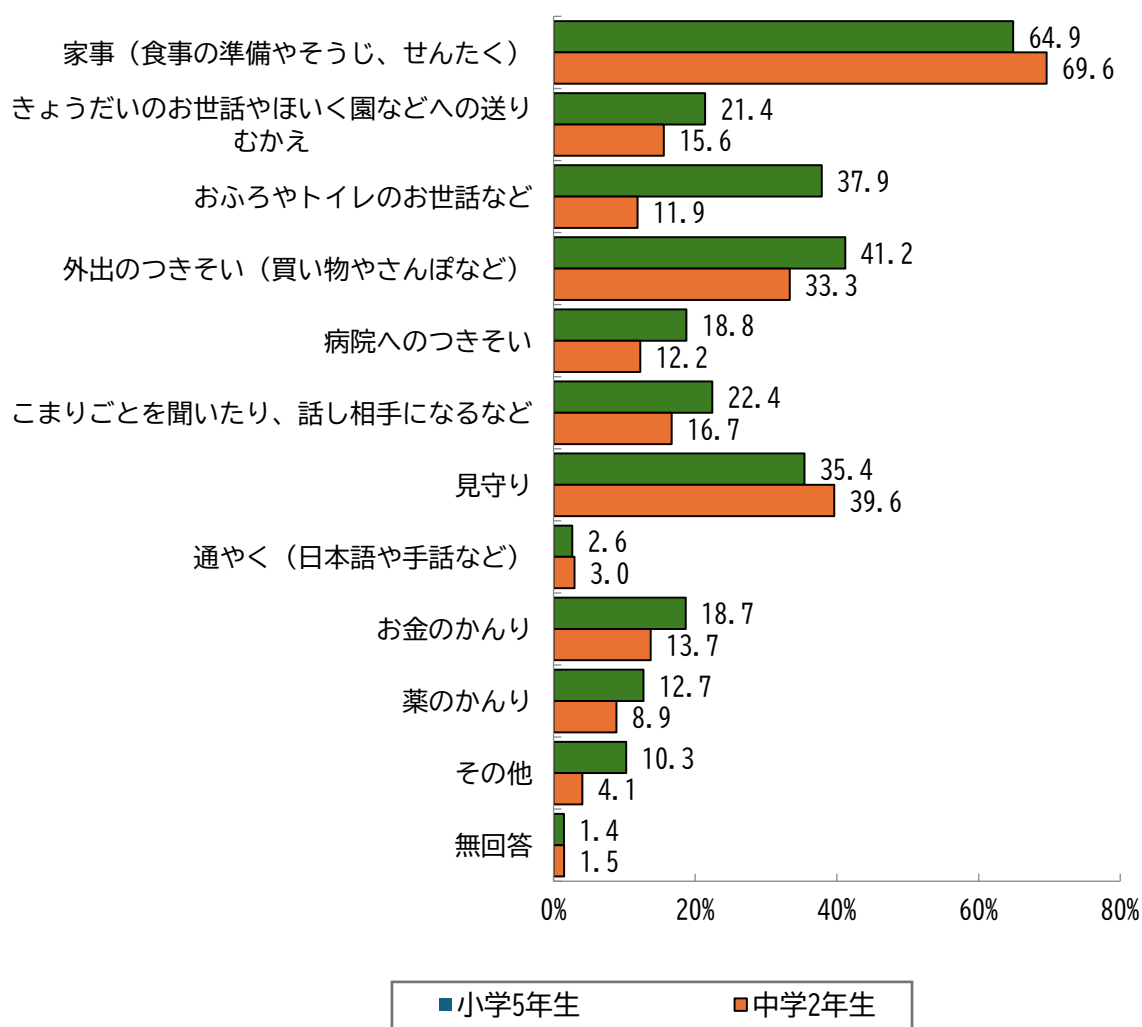


問 あなたが、お世話をしている人に対して、行っているお世話の内容を教えてください。

最も高い割合を占めているのは、両学年とも「家事（食事の準備やそうじ、せんたく）」で、中学2年生が69.6%、小学校5年生が64.9%となっています。

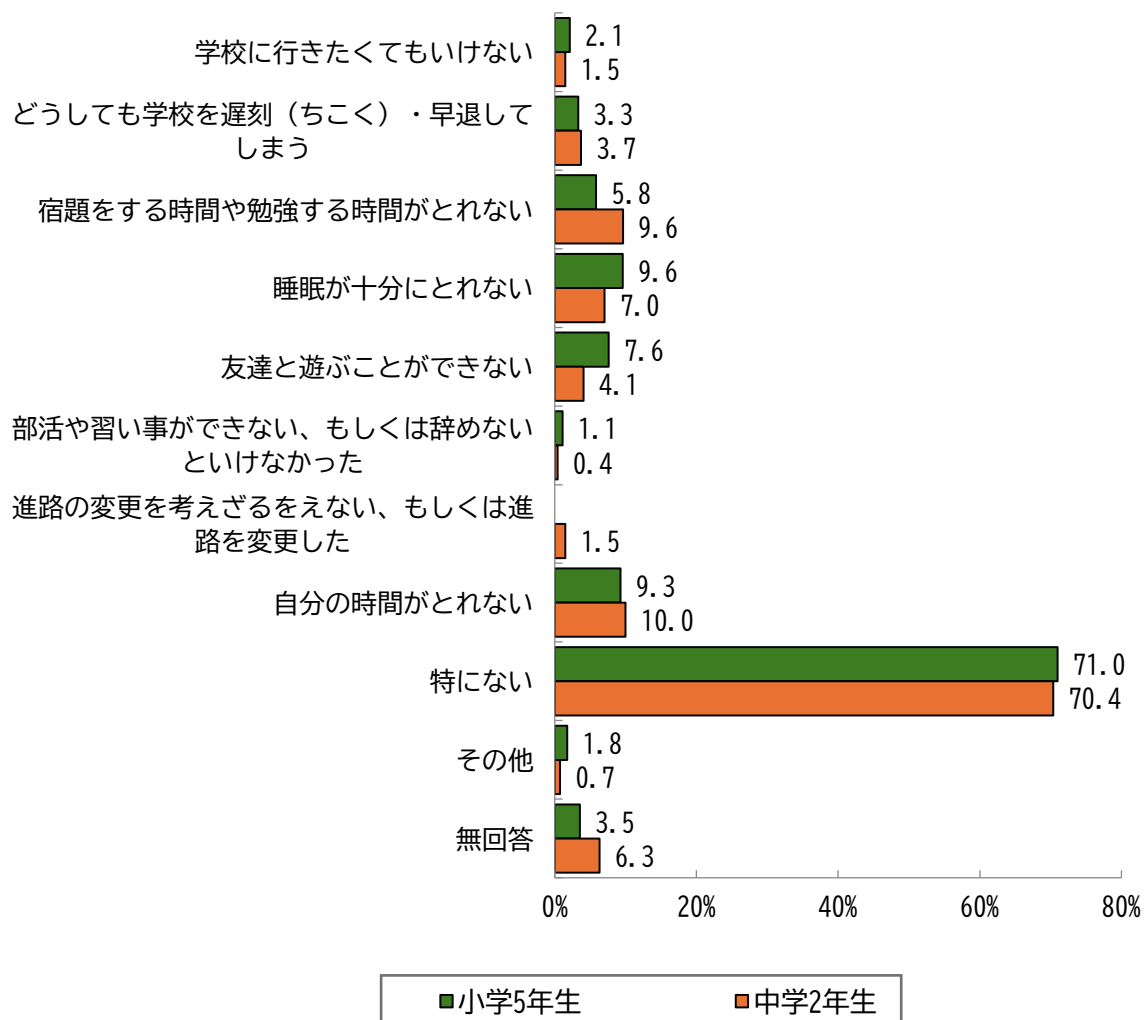
小学校5年生は、「外出のつきそい（買い物や散歩など）」（41.2%）や「お風呂やトイレのお世話など」（37.9%）において、中学2年生よりも高くなっています。

中学2年生は、「家事（食事の準備やそうじ、せんたく）」（69.6%）、「見守り」（39.6%）で高い傾向が見られます。



問 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。

両学年ともに、「特にない」が最も高くなっています。次いで、割合が高くなっているのは「自分の時間がとれない」「宿題をする時間や勉強する時間がとれない」「睡眠が充分にとれない」となっています。



問 お世話をすることにきつさを感じていますか。

両学年ともに「特にきつさを感じていない」の割合が最も高くなっています。

